

気候情報

2023年7月の日本の天候

- 気温は北・東日本でかなり高く、西日本と沖縄・奄美で高かった
- 降水量は北・東・西日本太平洋側で少なかった
- 日照時間は北・東日本太平洋側と東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側と西日本太平洋側で多かった

7月の天気概況

北・東・西日本では、上旬から中旬にかけて、本州付近に梅雨前線が停滞し、前線や低気圧の影響で日本海側を中心に曇りや雨の日が多かった。上旬は西日本や奄美地方で、中旬は東日本で、線状降水帯が発生し、また中旬には北日本で記録的な大雨となった所があった。月平均気温は、北日本を中心に暖かい空気に、東・西日本と沖縄・奄美を中心に太平洋高気圧に覆われたため、北・東日本でかなり高く、西日本と沖縄・奄美で高かった。

上旬：北日本では、低気圧や前線の影響を受けにくく、まとまった雨の降った日が少なかった。東日本では、梅雨前線の影響で曇りや雨の日もあったが、太平洋側を中心に高気圧に覆われて晴れた日もあった。西日本では、期間を通して梅雨前線の影響を受けやすく、10日には福岡県と大分県に大雨特別警報が発表されるなど、各地で河川の氾濫や土砂災害が発生した。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

旬平均気温は、北日本でかなり高く、東日本と沖縄・奄美で高かった。西日本では平年並だった。

旬降水量は、西日本日本海側と西日本太平洋側で多く、北日本日本海側、北日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかった。東日本日本海側と東日本太平洋側は平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側、北・東日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。東・西日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

中旬：北日本では、日本海側を中心に前線や気圧の谷の影響を受けやすく、東北北部を中心に記録的な大雨となった所があった。東・西日本では、日本海側は梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、東日本では線状降水帯が発生して記録的な大雨となった所もあった。中国地方、近畿地方、東海地方では20日ごろに梅雨明けしたと見られる。沖縄・奄美では、湿った空気の影響でまとまった雨が降った所があった。

旬平均気温は、北・東日本でかなり高く、西日本と沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。一方、東・西日本太平洋側で少なかった。西日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり少なかった。一方、東・西日本太平洋側で多かった。北日本太平洋側、東・西日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：北日本では、期間の前半は高気圧に覆われ、東・西日本では、太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多

かった。四国地方と北陸地方では21日ごろ、関東甲信地方と東北南部、東北北部では22日ごろ、九州南部では23日ごろ、九州北部地方では25日ごろ、梅雨明けしたと見られる。沖縄・奄美では、期間の後半は台風第5号や台風第6号の影響で曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、北・東日本でかなり高く、西日本と沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北・東日本太平洋側と東日本日本海側でかなり少なく、北・西日本日本海側と西日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。

旬間日照時間は、北・東日本太平洋側と東日本日本海側でかなり多く、北・西日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。

7月の気候統計

月平均気温：北・東日本でかなり高く、西日本と沖縄・奄美で高かった。

月降水量：北・東・西日本太平洋側で少なかった。北・東・西日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：北・東日本太平洋側と東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。西日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 7月の記録 (1位更新のみ、タイ記録含む) ——

・月平均気温の高い方から (°C)

根室 (北海道) 19.0 など25地点

・月降水量の少ない方から (mm)

日光 (栃木県) 91.5

・月間日照時間の多い方から (h)

宇都宮 (栃木県) 215.9 など4地点

2023年7月の平年差 (比) 図

